



年頭のごあいさつ

岡谷市長

林 新一郎

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から岡谷市政に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

昨年は、国際的交流の多い年でした。スペシャルオリンピックス冬季世界大会の長野県開催に伴うホストタウンプログラムでの「カナダ選手団との交流」、デンマークの童話作家「アンデルセン生誕200年展」の国内トップを切つての開催、岡谷市と姉妹都市交流をしているアメリカ合衆国マウント・プレザント市との姉妹都市締結40周年を記念するイベントの開催などが行われ、多くの市民の皆様にもご協力とご参加をいただきました。

また、歴史ある出来事もありました。岡谷駅が開業100年を迎え、記念イベントとしてSL蒸気機関車が市内を走ったわけですが、D51形蒸気機関車が煙を上げ汽笛を鳴らしながら、時代を超えて高架橋の上を走る姿に何とも言

えない感慨を覚えました。市民の皆様も懐かしさを感じたことと思います。

さて、岡谷市は自立の道を歩むにあたり、徹底した行財政改革に取り組むため「岡谷市行財政改革プラン策定市民会議」を設置し、多くの市民の皆様方よりパブリックコメントを戴きながら、「岡谷市行財政改革プラン」を策定しております。

本年は、このプランのスタートする年であり、本格的に自立のまちづくりを進めていく年と位置づけております。

今後の財政状況は、国の三位一体の改革の影響などにより、ますます厳しくなることが予想されますが、そのような状況の中にあっても、最小の経費で最大の効果が得られるよう英知を結集し、創意と工夫と努力により、将来に夢が持てる特色のあるまちづくりを推進していくことが私の責務だと強く決意しております。

市民の皆様一人ひとりが快適で安全に安心して住むことができる強さと優しさを兼ね備えたまちづくりのため、18年度は、市民総参加のまちづくり基本条例を踏まえた「市民総参加のまちづくりの推進」、「安全安心に係る市民生活に密着した施策」、急速に進む少子化を踏まえた「子育て支援」に重点的に取り組んでまいりたいと考えております。

今年、岡谷市制施行70周年という記念すべき年に当たります。

長年に渡って培われてきた栄光の歴史の上に、さらに夢と希望の持てる岡谷市を市民総参加で築き上げてまいりたいと考えておりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

希望に満ちた新年のスタートにあたり、この一年の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげ、年頭のごあいさつとさせていただきます。